

群馬県議会 リベラル群馬

県政の革命児!

県議会だより

後藤かつみ

vol.18

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com
http://www.ccrgoto.com/



知事が女性を知事公舎に宿泊させた問題については、報道以降、県議会では「オール与党」である状況を背景に、知事公舎問題を取り上げることは「タブー」といった空気でありました。

後藤としては、大澤知事の4年間の県政運営については、各界からの歳出圧力に对应しつつも健全財政を維持してきた手腕など、一定の評価をすべきという立場です。

7月末で知事公舎から退去してしまします。危機管理の専門部署を新設するなど、危機管理を重点施策としてきた知事が何故突如公舎を出たのかに関心が集まっています。

後藤は、第三者委員会などで議論する話ではない。有事の際には知事に代わる人はいないことを自覚し、知事自身の判断で速やかに公舎に戻るべきと指摘しました。



田中正造翁の像の前にて、信念を貫く議会活動を誓う

危機管理のトップとしての自覚を問う



リベラル群馬で福島県相馬市の復興の取り組みを調査(災害対策本部にて)

← 【 田中正造 - たなかしょうぞう - 】
1841年～1913年 栃木県出身の政治家。
足尾鉍毒事件(銅山開発により渡良瀬川流域が鉍毒に侵された事件)を国会で追及。その後も、天皇直訴や被災民の救済運動に身を投じ、鉍毒事件との闘いに生涯を捧げた。

県議会では過去に党サイドから盛んに上委員会活動の一環として、県内・県外視察に加え、「海外視察」として1人100万円の予算が計上されています。後藤は、この議会の動きに警鐘を鳴らすため、①海外に出る勉強したが、視察の状況が「任期中に1度の楽しみ」などとマスコミに批判的に報道されたことを受け、小寺前知事時代の2006年度から予算を凍結し、今に至っています。

海外視察復活の動きに警鐘

本会議一般質問に登壇

タブーを恐れず「是々非々」の姿勢で切り込む

知事公舎問題

「是々非々」であることが大原則です。功績は功績として評価しつつも、正すべきことは正さなければ議会の存在意義はありません。

この問題に対し知事は「プライベートなことのため一切コメントは控える」と突っぱねていますが、後藤は、①県民の多くが疑問視していること、②県民の財産である「公舎」でこの問題が起きていることから、議会において説明責任を果たすべきであると追及しました。